

## 社会科学習での「自学のためのノート作り」

皆さんすでに御存じのように、中学の社会科には、「地理」「歴史」「公民」3つの領域があります。

児童生徒の多くの皆さんは、「社会科は、暗記教科」だから、面倒くさくて嫌い、またなかなか覚えられないので嫌だと思っている人が多いのではないのでしょうか。確かに、覚えなければならない事柄があることは、その通りですし、私の友達にも、徹底的に覚えることで社会科の学習に対応しようとしていた人もいました。そうして社会科の学習をしている人も多いのではないかと思います。

しかし、それだけで面白のでしょうか。地理や歴史の教科書を眺めていて楽しいのでしょうか？

### ○ 「自学のためのノートづくり」のねらいは

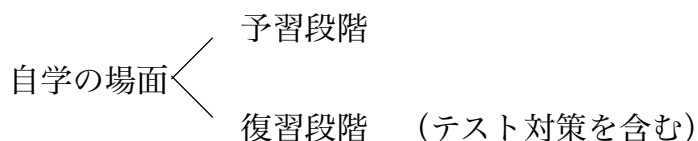
「自学のためのノートづくり」の目的は2つです。

- 1 皆さん一人一人が、その人なりの筋道を立てて社会科の学習をするため
- 2 社会科の学習に、少しでもその人なりの興味関心を持って取り組んでもらうため

上記2つのことは、社会科を好きになる（面白いと感じる）ためにも必要なことです。好きになれば、それまでなかなかできないでいたことが出来るようになったりするかもしれません。上記の2点についていえば、例えば何かと歴史の学習は覚えることが多くて「面倒だと思ふ歴史事実・内容」についても、覚えることにそれほどの苦（必要感のなさ）を感じることなく獲得できるのではないかと思います。

### ○ 「自学のためのノートづくり」の意義

「自学」の場面は、大きく分けて2つあります。



一つは、「予習段階」もう一つは「復習段階」です。テスト対策のための学習は、「復習段階」に入ると言えます。

◎予習の段階ノートづくり・・・わからないことをはっきりさせて、授業を受けるため

◎復習の段階ノートづくり・・・授業で学んだ事柄を整理整頓し定着（獲得する）するため

予習の段階と復習の段階でのノートづくりの差異は何かというと、前者は、分からない事を明確にして授業に臨むためのノートづくりであるのに対して、後者は授業で

学んだ事柄を理路整然と整理整頓し知識として、脳にとどめるためのノートづくりであるということです。

今回の「自学のためのノートづくり」は、後者の「復習段階」である授業で学んだ事柄を脳に定着させるためのノートづくりです。

社会科では、「ノートづくりそのもの」が、学習になり、テスト対策になります。もし、予習段階と復習段階のノートづくりを行うとするとその間に授業を受けていることから、同じ内容のことを3回学習することになります。ということは、もうそれだけでも十分な時間と内容の学習をしていることになり、理解は進み定着量も増加することは、いうまでもないことです。

自分なりのノート作りでいいので、地理だけあるいは歴史領域・公民だけでもいいですので取り組んでみてはいかがでしょうか。

前述した私の友達は、社会科の教師をしています。